TSK
カナンの園
101

地域の中での自分たちの役割として、ポスティング作業をしています。また、子育て支援の場として地域のお母さんたちに利用されています。

となんカナン始動、地域と共に

盛岡市にカナンの園2カ所目の事業所として開所しました。就労継続B型20名と就労移行支援10名の多機能型事業所です。主な課目は菓子製造とカフェレストランの営業です。お客様に心地良いひとときを楽しんで頂けるようサービス提供に励んでいます。

また福祉施設でありながら、解放された空間・機能の提供をと様々な方達への働きかけをしながら準備してまいりました。他に業者と契約したメール便配達及びポスティング作業が展開されています。今後地域住民の方へ戸別配達や、農業分野での施設外作業等多様なメニューが用意されています。B型・就労移行支援事業ともご本人達の次に向けた個別支援を充実させるべく準備展開している所です。また地域で活動している様々なグループやプランナーの方達が企画を持ち込み相談にきている状況があり、既に定例化された企画もあります。現在若いお母さん達の子育てグループやリフレッシュサロンの定例化、あるいは専門家による法務サロンの開催など、多様な方達がプランを持ち込み展開し準備しているところです。地域の中にある資源としてどのような存在になれるか、地域の方達と普通に交流が出来る空間を構築すべく歩み始めたところです。

外部の方達による施設利用も盛りだくさんの状況となっています。隣接老人福祉センターは月の利用者が1500人前後と大盛況であり、こちらとも連携を進めているところです。盛岡市南地区における就労系事業所として、利用されるご本人の願いの実現に向けた積極的な支援を展開すべく力を注いでいるところです。盛岡圏域における福祉サービスのいっそうの充実と地域にある施設としてどのような機能を提供出来るのか、積極的な歩みの中で構築して行きたいと願っています。

多機能型事業所となんカナン
管理者　菅生周一

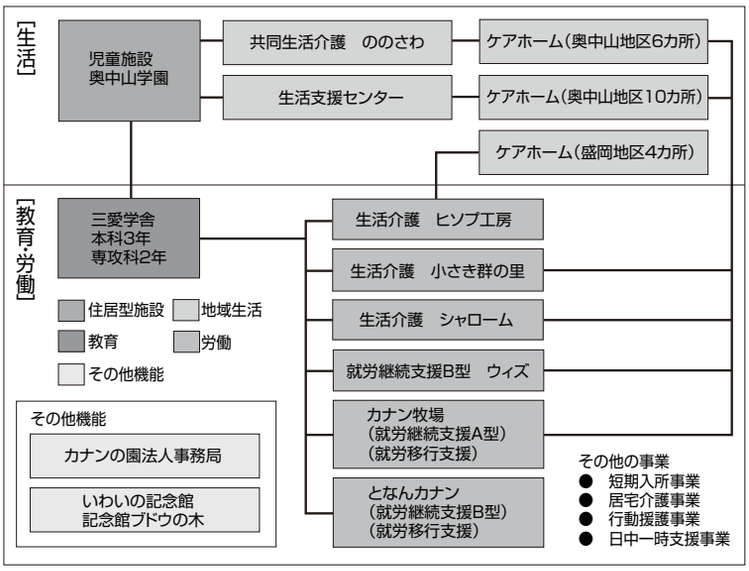
No.101
発行日／2010年７月15日
編集／社会福祉法人カナンの園
〒028-5133 岩手県二戸郡一戸町
中山字大塚4番地7
TEL 0195（36）1026
FAX 0195（36）1027
ホームページ
http://www.canaan-jp.com/
E-mail／info@canaan-jp.com

「カナンの園」教育・労働・暮らし

カナン（Canaan）とは
聖書の中に神が約束された
乳と蜜の流れる広い土地のこと

2010年度新しく開所した
多機能型事業所となんカナンを加えて
自立支援法の下、
10カ所の現場が整備されました。
ケアホームの建設、盛岡地区の連携の充実など、
これからの課題も多くありますが、
皆様の支援の中一歩ずつ歩んでいきます。

カナンの園体系図



生活介護事業　ヒソプ工房(本館)　ハープ(別館)事業所

〒020-0147　盛岡市大館町28番53号　　電話 019-646-8581　FAX 019-646-8582
E-mail　hisopu@canaan-jp.com
定員：ヒソプ工房36名　ハープ6名

ヒソプ工房・ハープは生産活動や創作活動を中心とした生活介護事業所です。青果物加工やせんべいの袋詰め等の受注作業、クッキーやリサイクル石鹸、BDF燃料の製造販売を行っています。さらに施設外での作業販売等にも積極的に取り組んでいます。日中一時支援やケアホームでの地域生活支援も行っています。

別館ハープ

ヒソプ工房本館の斜め向いの一軒屋を用いています。創作活動を中心に少人数での活動を行っています。
〒020-0147
盛岡市大館町25番21号
電話／FAX 019-643-6365

共同生活介護事業
「HANA」事業所

通称ケアホーム事業です。盛岡市緑ヶ丘に「HANA」（定員6名）、上田に「上田」(定員4名）と「杉沢ホーム」（定員2名）と永井に「ハピネス」（定員5名）の計4カ所あります。詳しくはヒソプ工房までお問い合わせください。

児童入所施設　奥中山学園（併設：短期入所事業、日中一時支援事業）

〒028-5133　二戸郡一戸町中山字大塚4番地6
電話 0195-35-2314　FAX 0195-35-3406
E-mail　gakuen@canaan-jp.com
定員：40名

県立盛岡みたけ支援学校奥中山校や三愛学舎へ通う12～20歳の子どもたちが、６棟の小舎（独立した建物）と1棟の自活訓練棟（中山地区内の借家）に分散し暮らしています。同年代の仲間との暮らしの中で自分を見つめ、確立していくことや、学校や家庭と協力しながら、将来の暮らしに向け必要な力を身につけることなどを目指しています。

三愛学舎

〒028-5133　二戸郡一戸町中山字軽井沢49番地33
電話　0195-35-2231　FAX 0195-35-2781
E-mail　sanaigakusha@r8.dion.ne.jp
定員：75名（各学年15名）

知的障がいのある生徒の特別支援学校です。高等部のみの単独校で、本科3年、専攻科2年、通算5年間で、生徒一人ひとりの個性に合わせた青年期教育を行います。「生活」「労働」を中心に、あらたな「自分づくり」をめざし、成人生活への移行を支援します。

共同生活介護事業　ののさわ事業所

〒028-5134　二戸郡一戸町奥中山1032番1
電話 0195-35-2232　FAX 0195-35-3405
E-mail　kosato@luck.ocn.ne.jp
定員：36名

2009年度より、成人更生施設“小さき群の里”の生活の部分が、共同生活介護事業（ケアホーム事業）となりました。現在、36名の方々が6つのホームに分かれ、地域生活を送っています。利用者の方々は、医療的配慮が必要な方、車イスで生活されている方、個性や特性に応じた専門的なサポートが必要な方々が多く、医療機関、居宅介護事業等との連携を図りながら、一人ひとりの生活が充実する様、サポートをしています。

多機能型事業　となんカナン事業所
（就労継続支援B型事業、就労移行支援事業）
〒020-0834　盛岡市津志田西二丁目16番91号
電話 019-681-3004　　FAX 019-637-2601
E-mail　tonan-c@utopia.ocn.jp
定員：継続支援20名　就労移行10名
2010年4月に盛岡南地区の新たな就労支援の事業所としてスタートしました。菓子部門での自主製品やカナン製品のアンテナショップとしてCaféおーでんせを併設し、地域の方々の交流の場としてご利用頂きます。また、就労移行支援では、施設外就労なども行いながら、一人ひとりの就労支援を行います。

生活介護事業　小さき群の里事業所
〒028-5134　二戸郡一戸町奥中山1315番1
電話 0195-35-3080　FAX 0195-35-3080
E-mail　tiisakimure0943@heart.ocn.ne.jp
定員：40名
2009年度より、成人更生施設“小さき群の里”の日中活動の部分が、生活介護事業となりました。現在、約40名の利用者が6つの作業科に分かれて、豚や羊の飼育、羊毛加工製品の製造、無農薬野菜の生産、薪づくり、リサイクル作業（缶つぶしや牛乳パックの再生和紙製品づくり）等を行っています。利用者の多くが“ののさわ事業所”から通ってきており、生活・労働の綿密な連携を基に支援を行っています。

就労継続支援B型事業所　ウィズ
〒028-5134　二戸郡一戸町奥中山字西田子535番地6
電話 0195-36-1120　FAX 0195-36-1121
E-mail　salom@canaan-jp.com
定員：20名
社会貢献、地域貢献を特徴とした作業を取り入れ、働くことの充実感を達成できる事業所をめざしています。発泡スチロールや　PETボトルの再商品化事業（リサイクル）を行う他、地元農家と連携を行い、畑のマルチビニール剥がしや、しいたけの植菌作業なども行っています。

生活介護事業所　シャローム
〒028-5134　二戸郡一戸町奥中山字西田子1447番地3
電話 0195-35-2883
FAX 0195-35-2884
E-mail　salom@canaan-jp.com
定員：20名
在宅やケアホームから来る20名の方たちで全国にお届けするせんべいをつくっています。一人ひとりのペースを大切にする作業支援の他、創作活動や体づくり、行事など、自分で選べる日中活動を提供し、達成感や喜びに繋がるように支援しています。

カナンの園生活支援センター
（共同生活介護事業、居宅介護事業）
〒028-5133　二戸郡一戸町中山字大塚4番地7
電話 0195-35-3844
FAX 0195-35-3840
E-mail　shien@canaan-jp.com
定員：54名
共同生活介護事業（ケアホーム）と居宅介護事業を運営し、現在10カ所のケアホームで生活している利用者の日常的な生活支援や金銭管理、通院や公的手続き、余暇・買物支援などお手伝いしています。カナンの園卒園者や利用者OB組織である「あすなろ会」のサポートもしています。

多機能型事業　カナン牧場事業所
（就労継続支援A型〈雇用〉事業、就労移行支援事業）
〒028-5134　二戸郡一戸町奥中山字西田子1027番地8
電話 0195-35-2583　FAX 0195-35-3415
E-mail　canaan@pluto.plala.or.jp
定員：継続支援34名　移行支援6名
「働く」ことを支援するカナン牧場=カナンのパン屋＝は、朝焼けの輝きを知っている早起きたちが働いています。07年度からは就労移行支援事業も開始。自分の暮らしを創り出したいという願いを一緒に考え支援していきます。

N E W S

●――ヒソプ工房

有賀誠門（あるがまこと）先生の音楽教室と「喜びのハーモニー」

5月25日ふれあいランド岩手にて「障がい者の文化芸術活動を支援する会」が主催するイベント「喜びのハーモニー～音楽・美術・食の販売～」が開催され、ヒソプ工房・別館ハープもイベントの開催に参加協力し、約２００名の観客から沢山の拍手を頂きました。

今回のイベントは同「支援する会」が毎月1回実施している「有賀誠門先生の音楽教室活動」の様子を発表する機会として企画され、当日は即興で会場全体を打楽器のリズムで巻き込みながら、客席やステージ上から各々の表現で有賀先生とセッションし発表するスタイルで行いました。

リズムの問いかけに答えるように「自分を見て」と表現する姿に、観覧に来ていた方々から「表現力が素晴らしい」と多くの言葉や拍手を頂き、体の中から溢れるエネルギー、表出する力強さに改めて発見と感動がありました。後半にはヴァイオリニストの天満敦子さんが奏でるストラディバリウスの音色に会場全体が包まれ、動と静の音楽を満喫した1日となりました。

「有賀誠門先生の音楽教室」は、東京藝術大学名誉教授の有賀誠門先生の指導の下、毎月1回盛岡地区にて音楽活動を行っております。同活動には、仙台フィルハーモニー管弦楽団の竹内将也さん、打楽器奏者の服部恵さんの他、音楽教師を長年されてきた方や音楽療法士、音大の学生などボランティア参加もあり、音楽の専門家と交流する貴重な機会となっております。有賀誠門先生の音楽にかける情熱と自己表現で答える「インサイダーアート」との共催。今後どのようなコラボレーションをみせて行くのか…楽しみです！　後日、会からチャリティーのご寄付を頂きました。心より感謝申し上げます。

（ヒソプ工房別館ハープ　浅沼典宜）

●――シャローム

「清心（きよみ）」さんを迎えて、心も清らか…

5月8日、第10回目の「さくら市」が開催されました。朝から、雨が降ったり止んだりの天候で心配されましたが、開会を迎える午前11時頃には、すっかり雨も上がり陽も差してきて絶好の幕開きとなりました。

学童クラブでのフリーマーケットの他、地域の方達が出店する「大判焼き」「乳製品」「ホットドック」「アイスクリーム」「生花」「コーヒー」等7店もの出店がありました。また、保護者会とウィズの「カレー」「焼きそば」もあり子供も大人もお腹も心も大満足の様子でした。

今回は初めての試みとして、マンドリンシンガーの「清心」さんを迎えてのライブコンサートを行いました。最前列に陣取り、大きな身体をゆらしてリズムをとる人、あふれ出る涙を拭う人、友達と抱き合って喜ぶ人、それぞれが「清心」さんの澄んだ歌声とマンドリンの魅惑の音色に酔いしれていました。　コンサートの後のサイン会ではホールいっぱいに集まった、一人ひとりと握手を交わし「清心スマイル」で写真撮影に応じて下さいました。地域の方々のご協力の下、職員と利用者の皆さん、保護者の皆さんが力を合わせて作り上げた「さくら市」となりました。

（田口　健）

からし種

※１粒のからし種は約１～２㎜
（聖書　マタイ伝13：31）

心あたたまる　小さなお話

旅行の夜に・・・

団体旅行や行事の直前になると、「俺、いがねー」と言うEさんが、ある日「たまにはみんなと温泉に行きてーなぁー」と話した事があった。5月の研修旅行が近づき「今度みんなで温泉に行く事になったから良かったね」と伝えると、少し不安そうにしていたが無言で受け止めてくれた。そして、旅行当日の夜、宴会の席でみんなにお酌をするEさんがいた。その後、お膳を前に胸いっぱいで涙している姿を見て誰もが心が暖かくなったのでした。

（ウィズ　山﨑敏夫）

ねえさん

いつものごはんもHさんと一緒に食べれば1･5倍おいしくなる。いつも見ているテレビもHさんと一緒に見れば1･5倍楽しくなる。Hさんは最高の笑顔でごはんを食べ、最高の笑顔でテレビを見る。Hさんと一緒ならば〝楽しい事〟が何倍も何倍も楽しくなってしまう。Hさんは太陽のような人だ。

そんな私の最高の楽しみはHさんとのお出掛けだ。Hさんと行く買い物と美容院とレストランとカラオケと映画は10倍楽しい。

私とHさんが一緒にお出掛けをすれば、よく姉妹に間違われる。どうやら顔が似ているらしい。だからわざと「ねえさん・ねえさん」と呼んでみてみたりする。実はそれも私の密かな楽しみなのだ。

（生活支援センター　川村翔子）

チャーハン

寮で誕生会をした時のこと。この4月に入園した隆文君はチャーハン作りを担当。卵を割って、具材とごはんを炒めて…。がんばって作ったチャーハンは、みんなから「おいしいね！」と大絶賛でした。その場では、隆文君は「ふふふ…」と小さく笑っていただけだったのですが…、その夜、布団に入ってから一言「あのさ、明日からチャーハンと一緒に住もうかな」と！　本当にうれしかったんだね。

（奥中山学園　滝澤愛美）

スポーツ大会に出場して

6月5日に、第12回岩手県障がい者スポーツ大会に出場しました。カナン牧場に来てから初めて参加し、競技はボウリングに出場しました。大会前、いい結果を残せるように手のひらのマメが破けるほど、一生懸命汗をかきながら練習しました。その努力により、本番では初めてストライクを2回出したり、調子が良かったです。でも結果は組で4位でした。

一緒にプレーした人が、ガーターが少なくてピンもたくさん倒していてすごく上手でした。自分はボウリングの時に投げ方が変だったので、周りの人を見て勉強したり、体が硬いので柔らかくできるよう練習してウデを磨きたいです。

また機会があればスポーツ大会に出たいと思います。次は1位を取りたいです。

（カナン牧場
就労移行支援事業利用者　T・S）

Mさん牛になる！

5月から「身体つくり」が始まり、作業場である「エフラテ」からケアホーム「丘の家」まで、頑張って歩いているMさん。毎日、同じ道を歩いても、違う景色を見つけるMさん。歩いているからこそ、見えるものや楽しみがある。ある地点に来ると遠くから聞こえる「モォ～」。

すると、Mさんも「モウォ～来たよォ～、ダダイ来たよォ～」。牛もまた「モォ～」と返事。しばし立ち止まって話すMさん。牛と話せるMさんはスゴイ！

私も牛になりきって「モォ～！」そのうち牛になるかも……？　なーんてね。

（小さき群の里　畑山のぶ子）

カナンの園2010年度の事業

カナンの園38年目の歩みが始まりました。制度的な裏付けとなる障害者自立支援法や児童福祉法の廃止や改正が議論され、流動的な社会状況の中でのスタートとなりましたが、法人設立40年を間近に控え、共に希望を抱いての一年の歩みとしたいと願っています。

4月には盛岡市を始め、関係者の思いの結実として新事業所「となんカナン」を開設することが出来ました。法人のこれまでの経験と持てる力を集結して、事業運営に臨みたいと思います。また昨年度は、長年の課題だった長期に亘って施設生活を送ってきた利用者への支援を、成人更生施設小さき群の里の閉鎖、そしてケアホームでの地域生活の開始という形で大きく転換させることが出来ました。今後はすでに地域生活をしている人たちも含め、住環境、医療、食生活などの支援体制、運営体制を再構築していくことが急務となります。地域の資源との結びつきの中での新たな動きも見られ、法人という枠を超えた連携が求められています。策定を進めている第6次将来構想に向けて更なる議論を深めたいと思います。

組織が大きくなるにつれ、様々な課題も浮き彫りになるものですが、理念を職員一人ひとりやその実践現場まで浸透させ、実現させていく為に、本年はチャプレンの働きを現場の糧となるような体制を作っていくと共に、自己評価や第三者評価システムを導入し、組織運営の在り方を検証することとします。

一昨年度より次代を担う人材育成を願って、ノーマリゼーション思想の発祥の地デンマークへの海外研修を開始しました。5年間の継続を目標に、今年度は3年目を迎える。過去2回の研修では、参加した職員はもちろん、その報告により多くの職員が触発されており、引き続き内容の深い研修として継続していきたいと願っています。

具体的な課題として以下を取り組みます。

（1）組織運営の強化を図るために以下の方策を取る。

①理事会と現場とが課題を共有し、対応できる運営を行う。

②チャプレンの働きを充実させると共に、健康管理体制の充実を図る。

③職員の人材育成と実務技術力の向上。

（2）法人設立40周年を控え、カナンの園の将来構想を検討する。

①中山地区、盛岡地区での利用者ニーズ、各事業所の役割を整理し、今後の事業展開や再編成を検討する。

②新事業所「となんカナン」の事業展開を法人全体で進める。

③ののさわ事業所のケアホームの建替えを順次行っていくための具体的な動きを始める。

④上記に加え、関係諸機関との連携の中でカナンの園の役割を改めて問い、「第6次カナンの園将来構想」を策定する。

社会福祉法人カナンの園役員（担当）

理事長
及川忠人（人事・法人運営）

理事長代理
本間邦彦（法人運営、安全管理／ヒソプ工房）

理事長代理
佐藤孝悦（法人運営、安全管理／シャローム・ウィズ）

常勤理事
藤村正治（人事、法人運営）
北村嘉孝（人事、法人運営）
佐藤真名（人事、法人運営、教育研修・法制）

理事
齊藤芳弘（広報、組織／支援センター）
千葉　茂（広報／となんカナン）
坂水かよ（組織、教育研修・法制／里・ののさわ）
真山重博（広報／奥中山学園）
原田千恵（組織／カナン牧場）

監事
花松行雄
菅野督巳
森萩　満
チャプレン
中条和哉

2010年度　社会福祉法人カナンの園施設管理者

●法人事務局
事務局長　佐藤真名
事務長　岡田正弘

●奥中山学園
園長　佐藤真名
副園長　岡崎俊彦

●小さき群の里
施設長　藤村正治
副施設長　薄正仁

●ののさわ
施設長　藤村正治
副施設長　薄正仁

●ヒソプ工房
施設長　阿部孝司
副施設長　浅沼俊一

●カナン牧場
施設長　菅生周一

●シャローム
施設長　北村嘉孝
副施設長　戸田清志

●ウイズ
施設長　佐藤研司
副施設長　戸田清志

●生活支援センター
センター長　佐藤研司
副センター長　山舘憲行

●となんカナン
施設長　菅生周一
副施設長　栃内恵子

学校法人カナン学園役員
理事長　猪苗代正憲
理事　本間邦彦
及川忠人
齊藤芳弘
角谷晋次
澤谷常清
監事　栗田良実
花松行雄

学校法人カナン学園
●三愛学舎
学校長　澤谷常清
教頭　伊藤和彦

社会福祉法人カナンの園 2009 年度 決算報告（単位：円）

1. 社会福祉事業会計

本部会計、奥中山学園、小さき群の里、ののさわ、ケアホームＨＡＮＡ事業所、同美空事業所、居宅介護事業れもん事業所等の各経理区分を合算したものです。

貸借対照表

平成22年3月31日現在

資産の部		負債の部	
流動資産（注：①）	275,557,933	流動負債	82,532,357
固定資産（注：②）	769,472,378	固定負債	59,181,850
		負債の部合計	141,714,207
		純資産の部	
		基本金	392,281,299
		国庫補助金等特別積立金	209,591,531
		その他の積立金	23,311,003
		次期繰越活動収支差額	68,332,271
		（内、当期活動収支差額	204,226,083）
		純資産の部合計	903,316,104
資産の部合計	1,045,030,311	負債・純資産合計	1,045,030,311

事業活動収支計算書

（平成21年4月1日～22年3月31日）

事業活動収支の部　（注：③）	
収入	557,285,493
支出	458,493,974
収支差額	98,791,519
事業活動外収支の部	
収入	47,753,402
支出	24,540,858
収支差額	23,212,544
特別収支の部（注：④）	
収入	123,623,382
支出	41,401,362
収支差額	82,222,020
当期活動収支差額	204,226,083
前期繰越活動収支差額	30,807,653
当期末繰越活動収支差額	235,033,736
基本金・その他の積立金取崩額	27,090,000
基本金・その他の積立金積立額	193,791,465
次期繰越活動収支差額	68,332,271

注：
①現金預金は11経理区分122,178千円、未収入金は自立支援給付2・3月分147,688,822千円及び利用料等になります。
②基本財産は、土地47.457千円、建物399,431千円。その他の固定資産として退職共済預け金18,931千円,積立金1,500,106千円等です。
③（ア）一般寄付金は9,748千円でした。(前年比2,675千円減）内訳（施設利用者指定寄付1,066千円、ケアホーム建設の為の寄付金1,654千円、法人活動の為の寄付金7,027千円）(イ)施設指定寄付金は606千円(ウ)事務局経費は6,935千円でした。

2. 就労支援事業会計

ヒソプ工房、シャローム、シャローム分場、カナン牧場、ハピネス事業所の各経理区分を合算したものです。

貸借対照表

平成21年3月31日現在

資産の部		負債の部	
流動資産（注：①）	150,394,966	流動負債	12,548,298
固定資産（注：②）	465,356,057	固定負債	41,609,475
		負債の部合計	54,157,773
		純資産の部	
		基本金	109.068.408
		国庫補助金等特別積立金	206,038,792
		その他の積立金	32,000,000
		次期繰越活動収支差額	214,486,050
		（内、当期活動収支差額	17,198,285）
		純資産の部合計	561,593,250
資産の部合計	615,751,023	負債・純資産合計	615,751,023

事業活動収支計算書

（平成21年4月1日～22年3月31日）

就労支援事業活動収支の部（注：③）	
収入	166,550,596
支出	182,118,837
収支差額	-15,568,241
福祉事業活動収支の部	
収入	268,158,111
支出	211,656,833
収支差額	56,501,278
事業活動外収支の部（注：④）	
収入	3,786,106
支出	27,520,858
収支差額	-23,734,752
特別収支の部	
収入	114,573,953
支出	114,573,953
収支差額	0
当期活動収支差額	17,198,285
前期繰越活動収支差額	195,656,886
当期末繰越活動収支差額	1212,855,171
その他積立金取崩額	24,630,879
次期繰越活動収支差額	214,486,050

注：
①現金預金は85,531千円、未収金は自立支援給付2・3月分及び利用料46,105千円、売掛金13,586千円、他は原材料等です。
②基本財産（建物）は33,471千円、退職共済預け金　10,709千円、移行時積立金9,000千円等です。
③就労支援事業収支では、ヒソプ工房が355千円、シャローム－650千円,シャローム分場が2,056千円、カナン牧場が－17,681千円、ハピネスが－594千円となった。
④支出は、福祉・医療機構借入金（ヒソプ工房、シャローム、カナン牧場）の利息返済及び他経理区分への繰入金です。

編集者　社会福祉法人カナンの園
〒〇二八―五一三三　岩手県二戸郡一戸町中山字大塚四番地七　☎〇一九五―三六―一〇二六

発行所　東北障害者団体定期刊行物協会（略称ＴＳＫ）
〒九八一―〇九〇七　宮城県仙台市青葉区高松一丁目四―一〇　頒価百円

EVENT CALENDAR　7月～11月

●――共通行事
8／7　カナンの園修養会
8／26　立教大学ハンドベルコンサート
9／18　第38回奥中山地区カナン祭
9／23　第18回ヒソプ工房カナン祭
11／7～14　海外研修派遣
11／19　創立記念礼拝

●――奥中山学園
8／24～8／22　夏休み
9／18　カナン祭

●――小さき群の里
8月上旬　仙台学生センターワークキャンプ（予定）
〃　夏旅行
8／31～9／5　立教大学ワークキャンプ
9／4　立教大学ワークキャンプとの交流会
9／18　カナン祭
10／2～3　小さき群の里30周年家族旅行
10／29　収穫感謝礼拝

●――ののさわ
8／12～17　夏期帰宅
8／22　奥中山地区部落運動会
10／30～11／3　秋期帰宅

●――ヒソプ工房
7／31～8／1　一泊旅行
8／12～16　夏期休業
8／21　クラブ活動
9／18　クラブ活動
9／23　ヒソプ工房カナン祭
9／25　大新小バザー(交流の日)
10／16　クラブ活動
10／29～30　秋期職員研修
11／3　健康診断
11／20　クラブ活動

●――カナン牧場
8／11～17　夏期休業
9／18　カナン祭

●――シャローム
7／30　伊藤由香さん体感コンサート
8／13～16　夏休み
9／18　カナン祭

●――ウイズ
7／30　伊藤由香さん体感コンサート
8／13～16　夏休み
9／18　カナン祭

●――生活支援センター
7／31～8／1　あすなろ旅行①（岩手サファリパークツアー）
10／2～3　あすなろ旅行②（たざわこ芸術村わらび座観劇ツアー）
11／3　あすなろ旅行③（マース北上、ヤクルト工場見学ツアー）

●――三愛学舎
7／13～15　専攻科1年研修旅行
7／21～24　本科3年修学旅行
7／26～8／20　夏期休業
8／24　県立沼宮内高校交流
8／31　全校農業②
9／1～3　専攻科2年卒業旅行
9／18　カナン祭
9／28　前期終業式
10／1　後期始業式
10／12～　専攻科後期Ｉ職場（校内）実習（～12／3）
10／13～14　本科1年生研修旅行
10／20～21　本科2年生研修旅行

●――となんカナン
毎週月曜日　休業日
8／13～16　夏期休業
11／4　健康診断

●お知らせ

第38回カナン祭
（奥中山地区）
9月18日（土）10：00～15：00
▼お問い合わせ先
小さき群の里　担当：中嶋隆
電話0195-35-2232
Eメール　sato@canaan-jp.com

第18回ヒソプ工房カナン祭
9月23日（木）10：00～15：00
▼お問い合わせ先
ヒソプ工房　担当：笹島
電話019-646-8581
Eメール　hisopu@canaan-jp.com

立教大学ハンドベルクワイヤーによる「奥中山でベルの音を響かせ隊」コンサート
8月26日（木）　奥中山農協ホール

「真心絶品」商標登録
この度、ヒソプ工房の「ちきゅうせっけん」が、日本セルプセンターで運営されている「真心絶品」ブランドに登録されました。「真心絶品」とは全国の障がい者施設で作られた製品の中から本当に優れたモノだけを厳選した、ちょっと素敵な製品の数々です。「ちきゅうせっけん」全国展開になります。
▼真心絶品ホームページ
http://www.magokoro-zeppin.com/

あとがき

100号記念号ご愛読ありがとうございました。カナンの園機関誌は101号からA4判に衣替えをして新たな歩みを進めたいと思います。政治も暮らしも揺れ動く社会です。私たちは機関誌を通じ全国の皆様と心を一つにして一人ひとりが輝いていきたいと思います。（岡田）

●機関誌「カナンの園」では、読者の皆さまからの声もお待ちしております。機関誌カナンの園に対するご意見、ご感想を、事務局までお寄せ下さい。

カナンの園法人事務局
〒028-5133
岩手県二戸郡一戸町中山
字大塚4番地7
TEL 0195（36）1026
FAX 0195（36）1027
郵便振替 02330-6-6631
ホームページ
http://www.canaan-jp.com/
E-mail／info@canaan-jp.com

社会福祉法人カナンの園

奥中山学園（児童入所）
☎0195-35-2314・FAX 0195-35-3406

生活介護事業所　小さき群の里
☎0195-35-3080・FAX 0195-35-3080

共同生活介護事業所　ののさわ（ケアホーム1～6）
☎0195-35-2232・FAX 0195-35-3405

生活介護事業所　ヒソプ工房
盛岡地区ケアホーム（1～4）
☎019-646-8581・FAX 019-646-8582

生活介護事業所　シャローム
☎0195-35-2883・FAX 0195-35-2884

就労継続支援B型事業所　ウィズ
☎0195-36-1120・FAX 0195-36-1121

多機能型事業所　カナン牧場
☎0195-35-2583・FAX 0195-35-3145

共同生活介護事業所　美空（ケアホーム1～10）
☎0195-35-3844・FAX 0195-35-3840

居宅介護事業所　れもん
☎0195-35-3844・FAX0195-35-3840

多機能型事業所　となんカナン
☎019-681-3004・FAX019-637-2601

学校法人カナン学園

三愛学舎（特別支援学校・知的）
☎0195-35-2231・FAX 0195-35-2781

本誌は再生紙を使用しています。